

日本図書館情報学会会報

No. 139

2010年9月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2010年度日本図書館情報学会臨時総会のお知らせ

会員各位

日本図書館情報学会会長
根本 彰

2010年度日本図書館情報学会臨時総会を下記のとおり、第58回研究大会の第2日目に開催いたしますので、ご案内申し上げます。会員各位におかれましては、多数ご出席下さいますようお願いいたします。

なお、総会の議事終了後、同会場において、2010年度学会賞・奨励賞・学会活動貢献賞の授与式を行ないます。

記

日時 2010年10月10日(日) 13:00~14:00

会場 藤女子大学 北16条キャンパス 7階 751教室

- 議事 1 2010年度定例(通信)総会の議案投票結果について
2 委員会報告

2010年度日本図書館情報学会定例(通信)総会の投票結果

有権者数	641
投票総数	298
有効投票数	297
投票期限	電子投票は2010年7月16日24:00までの投票を有効投票とした。 郵送投票は2010年7月16日消印までを有効投票とした。
有効投票率	46.3% (2009年度 有効投票率: 37.7%)
無効投票数	1

		賛	否	白票
第1号議案	2009年度事業報告	297	0	0
第2号議案	2009年度決算報告および会計監査報告	297	0	0
第3号議案	2010年度事業計画案	296	1	0
第4号議案	2010年度予算案	295	1	1

日本図書館情報学会規約第 11 条第 1 項(全正会員の 5 分の 1)により総会は成立し、第 11 条 2 項(出席会員の過半数)により、全議案は承認され、成立した。

正会員から寄せられたご意見・ご質問

定例(通信)総会のご意見欄に、正会員各位から下記のようなご意見・ご質問が寄せられました。貴重なご意見、誠に有り難うございます。今後の学会活動の参考とさせていただきます。

【ご意見】

図書館環境の変化に即応して、研究大会等の研究テーマ・内容の拡大、新展開が図られる事を期待します。

【回答】

今期の理事会は財政の立て直しが主な課題で、検定試験準備以外に新しい事業に着手することができませんでした。ただ、次期以降のための準備に少しずつ取り組んでおりますので、10月の臨時総会で直接、あるいは、理事を通じてでもかまいませんが、どういう事業を期待しているのかについてご意見をちょうだいできれば幸いです。(会長)

【ご意見】

事業報告中の「理事会・常任委員会の開催」について、情報量が少ないのではないか、という気がしています。見出しが「開催」であるため、非開催の委員会について言及されていないのは当然かもしれませんが、メールベースでの遣り取りすらなかったとは思えません。また、各委員会の議題が示されていないのはなぜでしょうか。他の報告事項を読めば分かることもあるでしょうが、それはそれ、これはこれで示しても良いと思います。以上、御検討いただければ幸いです。(現行の内容で問題ない旨、過去に決定済であれば御放念ください。)

【回答】

現在、常任理事会および各委員会の主たる議論は電子メールで行われているため、実際の開催回数は少なくなっています。メールでの議論をいちいち報告するのも煩雑なため省略していますが、理事会、常任理事会の議事内容の主たるものは通信総会で報告しています。また、各委員会は基本的に実務委員会であり、主な事項については会報に掲載されます。ということで、会議の議事報告というかたちにはなっていませんが、基本的な情報提供をおこなっているとご理解いただきたいと思います。(会長)

【ご質問】

予決算ともに雑収入の「科学技術振興機構」からの収入を見込んでいますが、これは何の部分でしょうか。同じく雑収入の「電気電子情報学術振興財団著作権使用料」とは何でしょうか。おそらく CiNii の収入ではないかと思いますが、今は財団を通さず NII が直にお支払いをしているはずですが。

【回答】

昨年度も同様のご質問を頂戴しましたが、会員各位への周知が徹底しておらず失礼いたしました。「科学技術振興機構」からの収入は、学会誌掲載論文抄録の著作権使用料です。また、「電気電子情報学術振興財団著作権使用料」はご指摘の通り、国立情報学研究所の CiNii の利用による収入です。少なくとも、2009 年度までは、国立情報学研究所からではなく、電気電子情報学術振興財団よりお振り込みいただいております。国立情報学研究所では、直接、この種のお金の出納はできないというご説明を財団よりうかがっております。なお 2010 年 6 月時点では、2010 年度以降、国立情報学研究所から著作権使用料を直接振り込まれるようになる旨のご連絡は承っておりませんので、例年通りの費目とさせていただきます。(事務局)

【ご意見】

会費未納者が多いのは残念です。完納対策をご検討されますようお願いいたします。

【ご意見】

学会費の払込料金は、各自負担でも良いように思います。

【ご意見】

今年の議案を一読して、会費未納者が 15% (学生会員では 20%), 正会員・学生会員合わせて 100 名を越えていることが気になりました。(延べ人数かどうか解りませんが)。いろいろ対応されていることと思いますが、機械的に除籍していけばよいのではないのでしょうか。

【ご意見】

順調に増えてきた個人会員も、最近はやや減少しています。心配するほどではありませんが、会員数の変動を常に会員に知らせるようにしてください。

【ご質問】

7/3 現在、電子投票の URL が載ったメールが来ていない模様です。

【回答】

今回の定例(通信)総会における電子投票用メールは、2010 年度 5 月 31 日時点で、現在、有効なメールアドレスを学会に登録されている正会員のみにお送りしました。また、メールアドレスに登録されている場合でも、送信エラーが 30 件以上返送されてきましたので、それらの方々にはメールが届いておりません。もしも、メールアドレスをご登録いただいているにも拘わらず、電子投票用メールが送信されなかった場合は、お手数ですが、あらためて、学会事務局までメールアドレスをお知らせいただければ幸いです。(事務局)

【ご意見】

お世話になります。電子投票は手軽で良いですね。ご丁寧に予告のメールも頂戴しましたが、いくつか JSLIS からのメールが続いたこともあり、どれが電子投票本番へのリンクのあるものか少々混乱いたしました。電子投票が浸透すれば問題ないかと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【ご意見】

電子投票になったことで、投票しやすくなりました。現時点でははがきによる投票と並行して行われていますが、将来的には電子投票のみでも良いのではないかと思います。加えて、個人的には、紙媒体の会報も不要と思っています。(それに関わる人件費、郵便代金、印刷代金、労力等考えても)

【ご意見】

郵送費、集計コストの面から電子投票は効果があると思いますので、このまま続けていっていただければと思います。

【ご意見】

切手が目に入ってしまって何かもったいなくなってこちら(※)で投票してしまいました。が、電子投票には大賛成です。切手は自腹にさせると利用率が上がるかもしれません。

(※事務局注：ハガキ)

【ご意見】

電子投票は大変助かります。

【ご意見】

電子投票は便利です。

【その他】学会事務局への激励等：12 件

定例(通信)総会における電子投票の試行について

2010 年度定例(通信)総会では、2007 年度以来、3 年ぶりに、従来からの郵送投票に併せて、電子投票システムを試行しました。

電子投票システムの効用としては、(1) 投票手段の多様化により、投票率の向上が見込まれること、(2) 郵送投票から電子投票への移行が実現すれば、コスト削減に繋がるといった点が挙げられます。しかしながら、現時点では、電子投票への完全移行は時期尚早であると考えられるため、郵送投票と電子投票の併用という条件の下で、投票率向上を主眼とした効率的な電子投票システムの在り方について、今期の総務委員会において検討を行ってきました。

幸いにも、懸案であった学会財政の健全化が予想以上に早く実現されたことから、総務委員会におけるこれまでの検討結果を実証すべく、今年度の定例（通信）総会において、電子投票システムを試行しました。電子投票の方法の概要は下記の通りです。

- 2010年5月31日時点で、学会に電子メールアドレスを登録している正会員のみに、個別の電子投票用 URL を記載したメールを送信した。
- メール中に URL を含んでいることから、スパムメールと判断されないよう、電子投票用メールを送信する旨、事前に告知した。
- 従来の郵送投票との差異を際立たせないよう、電子投票用システムのインターフェースは郵送投票のハガキを模したものとし、できるだけ簡易な投票システムを指向した。
- 電子投票システムを利用することの心理的ハードルを僅かでも低減させるため、電子投票では、投票期限内であれば、何度でも投票し直すことを許した（同一 URL からの投票内容は上書きされた）。
- 投票期間を充分にとるとともに、督促メールを送信した。

以上の結果、有効投票数 297 票／有効投票率 46.3%という高い値を得ることができました。結果的に、多くの正会員に学会運営への意識を高めていただける好機となったものと思われま

す。なお、投票内容の内訳は下記の通りです。

有効投票数 297 票 = 電子投票 169 票 + 郵送投票 133 票 - 重複投票 5 票

参考までに、2000 年以降の選挙権者数、有効投票数、有効投票率の推移を表 1 に示します。

表 1. 2000 年以降の定例（通信）総会における投票率等の推移

年度	選挙権者数	有効投票数	有効投票率
2010	641	297	46.3%
2009	648	244	37.7%
2008	653	236	36.1%
2007	643	192	29.9%
2006	640	198	30.9%
2005	622	207	33.3%
2004	598	158	26.4%
2003	607	179	29.5%
2002	592	138	23.3%
2001	581	173	29.8%
2000	574	190	33.1%

2010年度研究助成の決定

2010 年度の研究助成（上限 10 万円）について 2 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。昨年と同様の 6 点の評価基準（[1]研究目的の明確さ、[2]研究の独創性、[3]遂行可能性、[4]成果の公表可能性、[5]申請金額の妥当性、[6]研究組織の適切性）を用いて各委員が付与した評価点に基づき議論した結果、次の 1 件に 10 万円の助成を行うことに決定いたしました。

研究代表者：野口久美子氏：大妻女子大学（非常勤講師）

研究題目：読書指導に関する現状認識とニーズに関する研究：高校教員を対象に

2011～2013期役員選挙の実施について

日本図書館情報学会選挙管理運営委員会

日本図書館情報学会規約第9条 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/kiyaku.html>), ならびに, 日本図書館情報学会選挙管理運営規定 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/senkan.html>) に基づき, 2011～2013年度の日本図書館情報学会役員選挙を次の日程で行います。

内容	日程 (予定)
理事候補者の推薦を求める文書と名簿の発送	2010年10月4日 (月)
理事候補者の推薦締切	2010年10月14日 (木)
選挙公示 (会長, 理事, 監事の選挙) <投票用紙の発送>	2010年11月1日 (月)
投票締切 (会長, 理事, 監事の選挙)	2010年11月18日 (木)
開票	2010年11月20日 (土)
選挙公示 (副会長, 常任理事の選挙) <投票用紙の発送>	2010年12月6日 (月)
投票締切 (副会長, 常任理事の選挙)	2010年12月16日 (木)
開票 (副会長, 常任理事の選挙)	2010年12月18日 (土)

※なお, 理事候補者の推薦を求める文書に, 会員名と所属のみを記載したリストを同封いたします。

役員選挙における電子投票について

役員選挙では, 投票手段として従来の郵送投票に加えて, 電子投票を行う予定です。投票については万全を期しておりますが, 万一投票期間中に電子投票システムの不具合が発見された場合には, 下記のような対策を講じる予定です。

- ・電子投票のデータが一部会員のものにせよ, 消失するような事態が発生した場合, 電子投票を行った全会員は改めて郵便投票を行う。
- ・上記の事態を含め, 電子投票システムに不具合が生じた場合には, 投票期間中に速やかに郵便投票に切り換える。
- ・郵便投票への切り換えは, ウェブサイトとメール版会報によって緊急報知する。

つきましては, 会員の皆様におかれましては, 電子投票を行った場合は, 念のため選挙終了まで投票用紙を保管しておいてください。

電子投票の詳細につきましては, 選挙管理運営委員会から発送される文書をご参照ください。

各委員会・事務局から

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」を必ずご参照下さい。

日本図書館情報学会 編集委員会
yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

2010年度の会費納入のお願い

2010年度までの会費未納の方は, すみやかに会費を納入ください。

【ゆうちょ銀行からの振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

【他金融機関からの振り込み先】

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（下記 URL からダウンロード可能）にご記入いただき、事務局までメール、もしくは、郵送でお送りください。

会員情報変更申請書について：http://www.soc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にて、退会理由を併記の上、学会事務局までご連絡ください。

研究委員会新規委員の加入について

- ・村上 浩介（国立国会図書館関西館）

総務委員会新規委員の加入について

- ・今井 福司（東京大学教育学研究科）

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。本学会、ならびに、他団体等からのお知らせのうち、速報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールにて、ご連絡ください。

事務局受領資料について

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。

書評対象文献の選定、ならびに、学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん 2010)の開催について

日程：2010年12月12日（土）、13日（日）

会場：東京工業大学大岡山キャンパス（東京都目黒区）

主催：(社) 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会

共催：文部科学省異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業『人文工学の方法による人文社会科学の実質化』（東京工業大学）

後援（予定）：アート・ドキュメンテーション学会、記録管理学会、情報知識学会、情報メディア学会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、電子情報通信学会、日本アーカイブズ学会、日本情報考古学会、日本図書館情報学会等

テーマ：「人文工学の可能性—異分野融合による「実質化」の方法—」

主なトピック：考古学・歴史学・文献学・言語学などを含むデジタル・ヒューマニティーズおよび人文工学、GIS、デジタル・アーカイブ、デジタル博物館、シリアスゲーム、可視化、データ・マイニング、教育、人文関連情報の解析、デジタル化文書、WEB 活用、保存科学、文化財防災、情報検索、メタデータ、など

主要プログラム：基調講演、特別講演、学術発表（口頭、ポスター、デモ）、企業展示など

詳細情報 HP：<http://www.jinmoncom.jp/sympo2010/>